

投 稿 要 領

(2012年 6 月改正)

1. 本誌が受け付ける投稿種別、およびその原稿枚数は下記のとおりとする。ただし、特集号の依頼論文など、編集委員会がとくに指定したものについては、この限りではない。

- | | |
|-----------------|-------|
| (1) 研究論文 | 21枚以内 |
| (2) 研究ノート | 17枚以内 |
| (3) 学界動向 | 2枚以内 |
| (4) 会員通信 | 1枚以内 |
| (5) 海外学会報告・研究短信 | 4枚以内 |

A4判、1 ページ22字×45行、上下余白各15mm、左右余白各65mm とする。上記の枚数には、本文の他、タイトル、注記、図表等を含むものとする。

図表等の文字数は、本誌 (B5判) に掲載された場合のスペースに相当する文字数としてカウントする (例えば本誌 1 ページ全体の大きさの図表は上記原稿 2 枚に相当する)。

2. 本誌に投稿できる者は、日本教育学会会員 (新入会の場合は理事会の承認を得た者) であり、当該年度の会費を納入している者とする (共同執筆の場合も同様)。

3. 研究論文および研究ノートの投稿について

- (1) 研究論文および研究ノートは、未発表のものに限る。ただし、口頭発表やその配付資料、発表要旨集等はこの限りではない。投稿論文と内容的に非常に関係の深い論文がある場合、その抜刷またはコピーを併せて提出すること (メールによる PDF ファイルの提出や掲載ページの URL の報告も可)。
- (2) 他の学会誌、研究紀要などへの投稿原稿と著しく重複する内容の原稿を本誌に併行投稿することは、これを認めない。
- (3) 共同執筆の場合は、別紙にそれぞれの執筆分担箇所を明記する。明記できない場合は、役割分担を示すこと。
- (4) 「研究ノート」とは、研究論文と並立するもので、とくに以下のような特徴をもつ論述をさす。

特定の主題に関して、

- ①研究動向・事実状況等を展望し研究上の提言を行ったもの。
 - ②史・資料の紹介に重点をおきつつ、考察を加えたもの。
 - ③その他の萌芽的研究を記したもの。
- (5) 審査の公正を期するため、以下のことに留意する。
- ①原稿 (英文摘要、邦文訳を含む) には氏名、所属等を記入しないこと。
 - ②別紙 (1 枚) に論文タイトル、氏名、所属および職名、連絡先 (住所・電話・メールアドレス) を記入すること。

- ③論文中に「拙稿」「拙著」あるいは「筆者の既発表論文」などの表現や、研究助成、共同研究者への謝辞など、投稿者名が判明するような記述を行わないこと。
- ④「研究ノート」として投稿する場合は、タイトルの前に<研究ノート>と記すこと。
- (6) 原稿は、クリップでとめ（ステプラー綴じにしない）、4部（複写でよい）提出する。いったん提出した原稿の差し替えは、原則として認めない。また、原稿は返却しない。
- (7) 原稿には、①500語以内の英文摘要 ②その邦文訳を各4部添付する。それぞれの冒頭に英語、日本語のキーワードを各5語ほど記入すること。
- (8) 原稿にはページ番号を付すること。
- (9) 投稿された論文については、採択・不採択を問わず編集委員会からの査読コメントを送付する。ただし、査読コメントに対する問い合わせには応じない。
4. 日本教育学会から刊行する機関誌および報告書等の編集著作権は、本学会が有するが、編集著作物に掲載された論文・報告書の著作権は、著作者が有する。また、編集著作物に関する使用料は、本学会の収入とする。
5. 投稿論文の締切は、奇数月の月末必着とする。月末が土・日・祝日の場合は、その前日を締切りとする。
6. 投稿論文送付先
日本教育学会機関誌編集委員会
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-15-2 クレアール神田102